

「社会保障・税一体改革」をやめさせ、応能負担で社会保障の拡充を！

ほっかいどうの社会保障

2012年7月3日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

「社会保障の拡充を！」「消費税増税はやめよ！」

世論と運動で廃案に！ 全道各地で宣伝署名行動を

7月16日～21日は、全道統一行動週間 札幌では宣伝カー運動（予定）

19日（木） 全道統一行動日 各団体が計画中

新婦人 100班100カ所行動

道医労連 全道で朝宣伝（7:30～9:00） 駅頭や医療機関前

21日（土） 昼 宣伝・パレード（道医労連など）

先週26日、民自公3党によって、消費税法案や社会保障を解体する法案などが強行採決されましたが、反対する国民の世論は変わっていません。参議院での審議入りの日程も決まっていまない状況です。

3党協議でさらに改悪された法案の内容や家計などへの影響、社会保障の拡充やそのための財源の方向もしめす宣伝、署名行動を広げ、廃案に追い込みましょう。

中央社保協は、3党合意の内容も含む新しいチラシを作成中です。活用しましょう



毎週金曜日 昼 宣伝

勤医協在宅では、5月連休明けから大通公園で昼宣伝を行っています。

先週から札幌市内の民医連法人や「介護に笑顔を！道連絡会」も参加して行われています。

12時30分～ 大通4丁目周辺

今週は 7月7日（土） 七夕宣伝
12:00～12:30 大通西3丁目

【7月の主な予定】

12日（木） 夕方宣伝 17:30～ 三越前周辺

27日（金） 夕方宣伝 17:30～ 三越前周辺

「国保料が高すぎて払えない」 帯広・釧路で国保料減免集団申請！

釧路では市と懇談も

高すぎる国保料。各地で相談会・国保減免集団申請が行われています。

帯広市では、社保協主催で、6月21、29日、国保料集団減免申請が行われ、5名が申請しました。4名が失業中の40～50代の働き盛りの世代、年金生活者も申請しました。

また、釧路市でも、国保問題連絡会が2名の集団減免申請を行いました。年金だけでは生活できず昨年働いていた女性。もう一人は、不景気で売り上げが減って保険料が支払い困難になった販売店を経営する方です。先だっで行われた市との懇談では、今年度から国保料の収納も「納税課」に一本化されたことから、機械的な差押えや資格証明書、短期証の発行をしないように求めました。市の担当者も「確かに滞納している市民とは接する機会が減ります。資格証明書や短期証発行の判断は、納税課の資料に基づき、国保課が判断します」と答えました。今後、函館市なども減免集団申請が行われる予定です。



7月7日 反貧困ネット北海道 設立3周年 記念シンポジウム

講師 湯浅 誠 氏 (反貧困ネットワーク事務局長)

山口 二郎氏 (北海道大学教授)

日時 7月7日（土） 13:30～16:30 場所 北大学術交流会館小講堂